

**今回のポイント**

COD(化学的酸素要求量)  
 水の汚れの原因となる物質(主として有機物)を酸化剤で化学的に酸化するときに消費される酸素の量。この数字が大きいほど、水が汚れていることを表します。単位はmg/l

水質検査は結果がすぐに出るCOD( )のパックテストを使いました。

今回、検査比較したのは以下の三種類の水です。

1. 水道水    2. 瀬戸川の水    3. 中山の森でみつけた水の赤ちゃん

記録は1が0mg/l、2が20mg/l、3が100mg/lでした。

この結果からいえば1はもちろん問題なく一番きれいだと思います。

しかし、3が一番汚れた水というのはちょっと納得がいかない感じ。

実はこのときみんなが見つけた水の赤ちゃんは、昨日この辺りに降った雨が落ち葉の層をつたい、たまったものだったのです。

雨水は落ち葉の層を通るときに、その中にたまっていた養分をたっぷりふくんでしまったため、数値が上がってしまったのです。

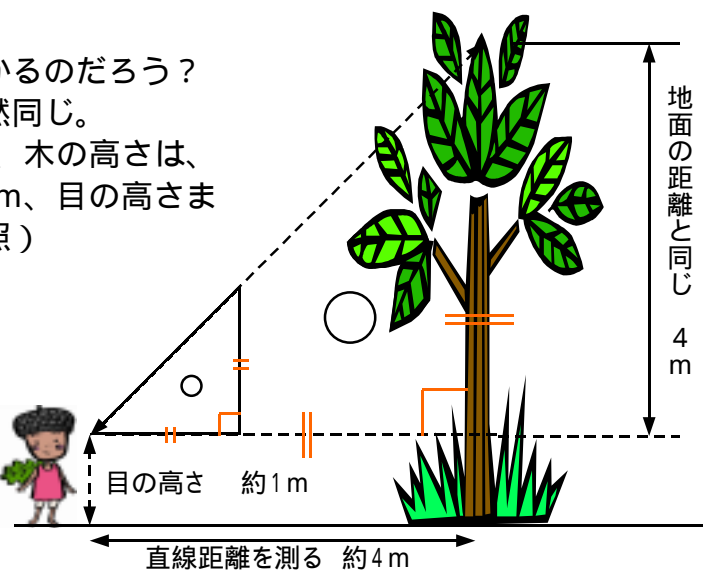
なぜ、直角二等辺三角形で木の高さがわかるのだろう？

二等辺だから直角を挟む各辺の長さは当然同じ。

地面を巻き尺で測って、4mあった場合、木の高さは、木の頂上から目の高さまでは地面と同じ4m、目の高さまでの1mを足して約5mとなる。(右図参照)

[木の高さを出す計算式]

地面での距離 + 目までの高さ = 木の高さ  
 (4m) + (1m) = (5m)



**参加者の声**

今日は森のすがたと水源探しをしました。自然観察指導員さんに木の種類を教えてください勉強になりました。土の温度(2月に比べ)もかなり上がっていました。

今日は前回よりたいへんだったけど、その分たくさん勉強できてよかったです。次ももっと楽しいといいな。

第1回に参加できなくて少し不安だったけど、友達もできたし、みんな面白い人ばかりで楽しかった。水のことや森のことがいろいろわかった。

今日は水源探しが一番面白かった。めずらしい昆虫やカワセミの巣など、きょうみがあるものがいっぱいあった。また、木の高さを調べるのがかなり疲れた。また、今度の休みにここに昆虫さいいゅうに来ようと思った。

今日は木の種類や長さ、直径などいろいろなことを調べて楽しかった。

タイコウチはどんなところに住んでいるのか。

ギンメキゴミグモはどうして身をゴミで守っているのか。自分で身を守るなんてすごい。

今日は木の高さ、直径、名前がわかってとてもたいへんでした。

瀬戸川の水は森の水源の水と比べ意外ときれいだった。

大竹さんが、とてもいろいろな木の名前を知っていてびっくりした。

土をほって水が出てくるなんて知らなかったからおもしろかったです。

今回の水源を探せは、少しほればよかったら、30cm程ほらないとでてこなかったの「たいへんだなあ。」とつくづく思いました。

土を掘るのも面白かったし、水が出たときはうれしかったです。

発行元：(財)2005年日本国際博覧会協会 市民参加促進グループ 編集責任者：小林 寛司  
 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階  
 TEL 052-569-2101 FAX:052-569-2100

